令和８年７月２７日

十　勝　管　内　の　皆　様　へ

北海道共同募金会十勝地方委員会　会長　村　瀬　政　昭
帯広市共同募金委員会　会長　奥　原　　宏
十勝社会福祉連絡協議会　会長　畑　中　三岐子

北海道共同募金会における使途不明金事案に関する十勝地方共同声明

令和８年６月、北海道共同募金会において多額の使途不明金が生じていることが公表されました。寄付金をお預かりする組織で発生した重大な事態であり、十勝管内の市町村共同募金委員会及び社会福祉協議会は、強い憤りと危機感をもって受け止めています。

日頃から共同募金にご協力いただいている地域住民、町内会、企業、学校、民生委員、ボランティア、関係団体の皆様にご心配をおかけしていることを、地域で募金運動を推進する立場として重く受け止めています。

十勝管内の各市町村共同募金委員会では、皆様からお預かりした募金を関係規程に基づいて管理し、北海道共同募金会へ送金してきました。地域に配分された募金は、高齢者、障がいのある方、子ども、生活に困難を抱える方、ボランティア団体などを支える身近な地域福祉活動に活用されています。

十勝管内の各市町村共同募金委員会へのアンケートでは、今回の事案を受け、地域の皆様からの募金協力が得にくくなり、募金額の減少によって民間の地域福祉活動が滞ることや、助成の遅延、満額助成の見通しが不透明であることによる事業への影響が懸念されています。また、善意をもって募金を呼びかける町内会役員やボランティア、窓口で寄付をお預かりする共同募金関係者への批判や心理的負担の増大を懸念する声も寄せられました。

その一方で、人口減少や高齢化が進み福祉課題が重くなる中でも、地域福祉の歩みを止めず、共同募金の意義を堅持しなければならないという思いが十勝全体で共有されています。共同募金は、困りごとに寄り添い支え合うための大切な仕組みであり、皆様からの募金は、高齢者の見守りや子どもの居場所づくりなど、確かな力として地域に届いています。

ここに、下記の４点について皆様にお約束をし、十勝地方が連携して地域福祉を前へ進めることを表明いたします。

十勝地方としての決意

1　**適正な管理と点検**　各市町村共同募金委員会においても会計処理、確認体制及び監査を改めて点検し、今後も引き続き募金の適正な管理を徹底します。

2　**分かりやすい情報公開**　募金の実績、地域での使い道、助成先、事業の成果報告はもとより、本事案に関する新たな情報を、広報紙やホームページ等で継続してお知らせします。

3　**一人ひとりの意思の尊重**　共同募金は皆様の自由な意思によるものです。寄付する・しないを含め、一人ひとりの判断を尊重するとともに、丁寧な説明に努めます。

4　**担い手への配慮と管内連携**　市町村間で情報や活動事例を共有し、町内会、企業、学校、民生委員、ボランティア等に負担が集中しないよう配慮します。

今回の事案によって揺らいだ共同募金への信頼は、容易に回復できるものではありません。私たちは、皆様の声に耳を傾け、地域で募金がかけがえのない資金としてどのように役立っているかをお示ししながら、地域福祉を守り、透明で誠実な共同募金運動を継続していくため、十勝地方が一体となって取り組んでまいります。

以上